

▽取組事例名	男女共同参画推進としての出会いイベント	▽取組期間	平成23年度～ (継続中)
		▽市町名	今治市

▽取組概要
<p>今治市役所市民まちづくり推進課がえひめ結婚支援センターと今治市内の管理栄養士の協力を得ながら、若い独身男女を対象に食の大切さについての講義や調理実習を通じ、協力しながら作業することにより、男性の家事への参加や協力し合うことの大切さ等、男女共同参画の啓発を図る。また、共同作業の中で懇親を深めることにより、出会いの場をつくる。</p>

▽取組みの背景
<p>男女の社会における活動や個人の生き方が多様化する中で、少子化の一因として晩婚化、非婚化がある。独身の男女が増えており、婚活という言葉をよく聞くようになったが、男性も女性も結婚はお互いを尊重し、助け合える人間関係を築くことが必要だということを理解しなければならない。</p> <p>一方で、男女共同参画の啓発講座等について、こういった若い世代の参加は決して多いとは言えず、一つの課題でもあった。</p>

▽取組みの狙い・具体的内容
<p>(取組みの狙い)</p> <p>20代、30代における男女共同参画の啓発の一環として、出会い料理教室を開催し、「出会い」の要素と組み合わせることにより、より多くの参加を促すとともに、料理・調理を通じて、若い男女が協力し合ってお互いを思いやり、感謝し合うことの大切さを体験してもらう。また、併せて食を通じた健康について、考える機会になることも目指した。</p>
<p>(具体的内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年10月 えひめ結婚支援センター職員と打合せ ・平成23年11月・12月 管理栄養士と打合せ ・平成23年11月 メールマガジンで参加者(男性12人・女性12人)募集 (男性36人・女性12人から応募があったため、その中から参加者を決定した。) ・平成23年12月17日 イベント開催(最終参加は男性10人・女性11人) <p>○イベント名「今治市役所市民まちづくり推進課de愛イベント ～ときめきクッキングで素敵なクリスマスin波方～」</p> <p>○開催場所 今治市波方公民館</p> <p>○概要スケジュール イベント開始 ～ プロフィールトーク ～ 料理教室 ～ 食事(フリートーク) ～ マッチング ～ エンディング(カップリング)</p>

▽取組みを進めていくなかでの課題・問題点(苦労した点)
<p>男女共同参画の啓発講座等については、規模の大きなもの、小さなものを含めて様々なものが開催されているが、主として講話を聞くといった一般的な形式のものがほとんどであり、若い世代の興味を引くようなものにするにはどういった工夫が必要かについて、課内において繰り返し検討を行った。</p>

☆工夫した点

- ・イベント経費については参加者からの参加費用でほとんど賄うことにより、市の経費負担を削減することができた。
- ・テーブルの飾り付けに注意し見た目の美しさを大切にしました。食事はバイキング方式にすることにより、参加者に一体感が生まれた。
- ・出会いイベント会場の波方町のデートスポット、観光地のパンフレットを配布して波方のPRに努めた。

▽取り組みの効果

男女共同参画の啓発講座等について、若い世代の参加が少ない中、「えひめ結婚支援センター」や「市内管理栄養士」など、他団体や民間と協働することにより、より多くの参加を得ることにつながったとともに、できる限り市の経費負担を抑制しつつ、イベント自体の魅力を高めることができた。

この結果、今後行政が他団体や住民と一緒に地域づくりを推進していく上での一つの成功事例となった。

▽住民（職員）の反応・評価

参加者からは「ただ講師の話聞くだけのイベントではなかったので、楽しみながらいろいろなことを学ぶことができた。次も是非企画して欲しい。」といった意見をいただいた。

☆取り組み効果を踏まえたフォローアップ

今後においても、同様のイベントを実施することを予定しているが、開催方法等については、地域人材の更なる活用の面も併せて検討するなど、より魅力的なイベントになるよう工夫を重ねていきたい。

☆将来的な構想のほか、他団体へのアドバイス

男女共同参画意識の変革と実践を目指す中で、これから結婚し、家庭を築いていくといった若い世代に対しての啓発については、もちろん重要な課題として検討していかなければならない。一方で、そういった若い世代の講座等への参加が少ない中、今回のイベントでは「出会い」と組み合わせることにより、定員を大きく上回る申込みを得ることができ、また、様々な工夫により男女共同参画の啓発についてはもちろん、食の大切さの理解や地域のPRなどにもつなげることができた。今回の取組が更に活発な啓発活動につながっていくよう、今後とも様々な工夫を検討していくこととしたい。